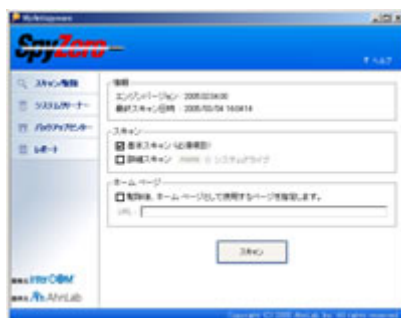


2005年3月17日

株式会社インター
コム
株式会社アンラボ

動個人情報の漏洩にも繋がるスパイウェアを検出／駆除する 専用の ASP セキュリティ サービスを新たに提供開始！！ パーソナル ファイアウォール／アンチウイルス／アンチスパイウェア サービスの 新生「SHILDIAN NETservice」を4月1日より提供開始！

通信ソフトの開発メーカーである株式会社インターコム（〒110-8654 東京都台東区台東1-3-5反町ビル、TEL：03-3839-6231、資本金：8,400万円、高橋啓介社長）と、韓国最大手セキュリティソフトベンダーの株式会社アンラボ（日本法人 東京都千代田区、李鳳基社長/本社 韓国ソウル市）が、セキュリティ分野の業務提携領域を拡大。現在アンラボ社より供給を受け、インターコム社が大手 xSP 事業者向けに提供している月額課金制のパーソナル ファイアウォール/アンチウイルス ASP サービス「SHILDIAN NETservice（シルディアン ネットサービス/以下 SHILDIAN）」に、韓国で No.1 のシェアを誇るスパイウェア対策サービス「SpyZero（スパイゼロ）」を新たにラインアップ。新生「SHILDIAN」として、2005年4月1日より提供を開始します。



SpyZero スキャン/駆除 画面

※本画面は改良のため一部変更となる場合がありますのでご了承ください。

■ サービス情報ページ：<https://www.intercom.co.jp/shildian/>

昨今、個人情報漏洩の脅威の1つとして謳われているスパイウェア※1ですが、未だ対策は十分とはいえません。これは、スパイウェアの定義や脅威がまだまだ明確化されていないことが大きな要因として挙げられます。例えば、一部のアンチウイルス商品ではスパイウェア対策機能が搭載されるなどの動きはありますが、そもそもコンピュータ ウイルスの検査方式ではスパイウェアの検出に限界がある※2という事実を認識しているユーザーは少数であり、結果として万全なスパイウェア対策が講じられていないという現状に繋がっています。こうした中、スパイウェア対策についての啓蒙と合わせ、専用の商品/サービスの必要性はますます高まっていると言えます。

今回「SHILDIAN」では、今後ますます猛威を奮うことが予想されるスパイウェアの脅威に対応すべく、専用のスパイウェア対策のサービス「SpyZero」を、新サービスとしてラインアップしました。本サービスは、開発元であるブロードバンド先進国の韓国では各種ポータルサイトのASPサービスとして既に提供されており、「韓国 MSN」、「DreamWiz」、「cyworld」といった大手コミュニティポータルを中心に、計20サイトから提供され、約100万人のユーザーに利用されるシェア No.1 の信頼あるサービスです（2005年2月現在）。本サービスの主な特長は以下の通りです。

<SpyZero の特長>

「SpyZero」では、危険なプログラムのうち、ユーザーのプライバシー情報を侵害する恐れのあるプログラムをスパイウェアと定義。ID やパスワードといったさまざまな個人情報データを外部に流出させるスパイウェアを検出/駆除します。

(1) 精度の高い検出/駆除を可能にする独自のアンチスパイウェア専用エンジンを搭載

コア要素となるスパイウェア スキャンエンジンは、パターンマッチング※3により PC 内に侵入したスパイウェアが潜むプロセスメモリ、ファイルシステム、レジストリなどを複合的に検査するスパイウェア検出に特化した検査方式を採用しています。検査時のキーとなるパターンファイル数も豊富で、2005年2月現在で4万2000個以上を保有しています。更には、ヒューリスティック技術※3による検査にも対応しておりますので、パターンファイルで対応できない未知の亜種スパイウェアについても検出/駆除が可能です。

(2) 従来商品の1.3倍以上のスピードでスパイウェアの検出/駆除が可能

スキャンエンジンに関して、精度の次に気になるのが検査スピードですが、本スキャンエンジンは検査対象ディスク上の全てのファイルを検査するのではなく、スパイウェアが潜む可能性の高いファイルやレジストリを優先的に検査する効率の良い検査方式により、競合商品の1.3倍以上のスピードで検査を実行※4できます。また、検査中のメモリ使用率は競合商品のおよそ半分※4、CPU使用率も5～10%程度少ない※4など、PC へほとんど負荷をかけずに検査を実行できます。

(3) PC 上のプライバシー情報を削除するシステム クリーナーも装備

アンチスパイウェア機能に加え、オート コンプリート項目やインターネット一時ファイル、Cookie、最近使ったファイルなど、各種ユーザー履歴関連情報を同一画面上から簡単に削除できるシステム クリーナー機能も搭載しています。プライバシー要素の高いユーザー履歴関連情報を定期的に削除することで、万が一スパイウェアに侵入されても個人情報の外部流出を防げるとともに、不要ファイルの無いクリーンな PC 環境を維持できます。

このようなスパイウェア対策サービスとしての申し分ない機能面に加えて、使い勝手の面においてもユーザーの利便性に優れたものとなっています。「SHILDIAN」の既存サービス同様 ASP という提供スタイルを採用することで、利用した期間分だけ支払う無駄のない月額課金システムや、プログラムの自動インストール、更にはパターンファイル アップデートやバージョンアップも自動実行されるなど、競合パッケージ商品と比べて最小減の手間やコストでサービスを利用できます。

既存のパーソナル ファイアウォール/アンチウイルス サービスに加え、アンチスパイウェア サービスがラインアップされた「SHILDIAN」は、ウイルスからスパイウェアまでネット上のさまざまな脅威からユーザーのPCを守る、利便性の高いセキュリティ サービスであるとして、今後も ISP を始めとするさまざまなポータル サイト事業者への普及に努めて参ります。

※1 スパイウェア：ユーザーのインターネット利用傾向などに関する情報を収集する"トラックウェア"、ユーザーのPC上で広告を目的とした動作をする"アドウェア"、キーボードからの入力を監視して記録する"キーロガー"など、ユーザーのプライバシーを侵害する恐れのある危険なプログラムの総称。スパイウェアがインストールされると、ユーザーのコンピュータに問題が生じたり、個人情報が流出する恐れがある。なお、現在"スパイウェア"という言葉は企業によって少しずつ違う意味で用いられており、明確な基準はない。

※2 ウイルス対策商品に機能として付属しているスパイウェア機能では、非常に危険性の高いスパイウェアおよび、世間一般で広く認識されているスパイウェアのみしか対応をしない傾向にあります。ウイルスはファイル単位で感染されますが、スパイウェアは普通のプログラムのインストール方式（Windows インストーラや ActiveX などダウンロード プログラムなどの方式）で感染（あえて感染といいますが実際は"インストール"といったほうが正しいかもしれません）されます。ウイルス対策の場合は、ウイルス本体や感染されたファイルを駆除すれば問題は解決できます。しかし、スパイウェアでは、レジストリや関連プログラムのすべてを削除しなければ、駆除ができない（ごみも残る、プログラムが再び動作する可能性がある）のです。よって普通のウイルス対策商品が同じエンジンを利用してスパイウェアを検知するのも、さらに駆除をすることも、一部のスパイウェアに限定され、方式として不完全と言えます。

※3 スパイウェアがインストールされることによって変更が成されるレジストリやファイルについて、それぞれ定義されたパターンファイルと照らし合わせて検出を行うのがパターンマッチング方式であり、検査対象を解析し、不審と思われる挙動等も検出した上で、総合的にスパイウェアかどうかを判断/検出するのがヒューリスティック方式となる。"発見的な方法"という言葉の通り、ヒューリスティック方式であれば、パターンファイルが存在しないスパイウェアについてもある程度は検出できる。

※4 SpyZero 及び競合ソフト2商品に関して、PC 内のハードディスク（ファイル数：2万3096ファイル、合計サイズ：3.59GB）を指定して手動スキャンを実行。スキャン時間はそれぞれ SpyZero：1分21秒、競合A：1分46秒、競合B：3分05秒を計測した。また、検査中のCPU/メモリ使用率については、Windows XP 内蔵の Performance Monitor を使用して3商品毎にそれぞれ測定/比較した結果となる。測定環境は、CPU：Pentium 4 2.4GHz、メモリ：512MB、OS：Windows XP Professional（2005年2月 アンラボ社調べ）。

<SHILDIAN について>

本サービスはインターコム社が提供する、ASP方式を採用した新しい形態のPC向けセキュリティサービスです。今回からアンチスパイウェアサービスもラインアップに加わり、PC向けセキュリティプログラム（MyFirewall/ファイアウォール、MyAntivirusV3/アンチウイルス、SpyZero/アンチスパイウェア）をB to B to Cのスタイルで、ポータルサイト利用者（会員）に向けてオンラインで提供します。現在「BIGLOBE」、「SANNET」、「@NetHome」といった大手ISP事業者を中心に、さまざまなポータルサイトで幅広く導入されており、利用ユーザー数は30万人弱（2005年2月末現在）に上ります。なお提供するセキュリティプログラムは、韓国最大手セキュリティベンダーのアンラボ社が開発しています。

本サービスを導入する事業者にとっては、利用ユーザーからのニーズが高いセキュリティ機能を、開発や運用の手間をかけずにローコストで提供できるメリットがあります。一方、本サービスの利用ユーザーにとっても、パッケージ商品と同等以上の高機能なセキュリティプログラムをオンライン上から自動インストールでき、ウイルスパターンファイルや本体プログラムまでもが設定したタイミングで自動更新されることで、手間をかけずに最新のセキュリティ環境を構築/維持できるというように、提供事業者と利用ユーザーの双方の利便性を追及したサービスとなっています。

商品概要 / 販売スケジュール

サービス名 : SHILDIAN NETservice

新サービスの提供開始日 : 2005年4月1日

新サービスの初年度提供予定 : 20万ユーザー

販売元 : 株式会社インターコム

開発元 : 株式会社アンラボ

サービス情報ホームページ : <https://www.intercom.co.jp/shildian/>

商品画像 : <https://www.intercom.co.jp/press/imgdata/2005/>
